

『仙台多文化共生センターだより』2021年度Vol.2

各言語版の「相談員コーナー」の日本語訳を紹介いたします。

Vol.2のテーマ：日本のごみ出し

英語版

相談員T

日本に引っ越す前は、毎日ごみ箱に捨てるごみについてあまり深く考えることはありませんでした。正直に言うと、母国ではどんなごみでも同じ袋に入れて出すことは可能でしたが、私は新聞や空き缶はリサイクルに協力して、必要以上にごみを増やさないように気を付けていました。

日本に来て、仙台市が作成した『資源とごみの分け方・出し方』というパンフレットを読んでからは、自分の考えが甘かったことに気がつきました。何も考えないで自由にごみを捨てる日々はもう終わり、分別する日々が始まりました。それは、単純なごみ捨てから頭の体操へと変わり、みごとなカルチャーショックでした。

乾電池、料理の油、電化製品、お菓子の包み紙、おむつ。一つ一つに捨て方があり、覚えるのに苦労しました。このパンフレットを全部覚えるのにどれぐらいの時間がかかるだろうと思いましたが、でもアパートや職場、飲食店などで環境のために頑張っている市民の姿を見ると、ごみの分別という壁を乗り越えてみようという勇気が湧いてきました。

パンフレットを見ながらごみを捨てるうちに、いつの間にかその知識が身に着き、時間はかかりましたが、ごみの分別ができるようになりました。最初は目が回るほどの情報量ですが、頑張ればみなさんも全部を覚えることができるでしょう。

中国語版

相談員I

ごみ問題は古い且つ永遠の話題です。近年、人工知能などの導入により、中国のごみ分別も斬新な時代を迎えましたが、ごみの分別が始まったのは、この20年余りのことです。私は30年前に日本に来たときに一番感心したことは、ごみの分別に決まったルールがあり、決まった曜日と時間帯に捨てることです。

日本のごみの分別は自治体により異なり、袋も指定されています。私は日本で引っ越しを何度か経験しました。市役所で転入手続きをするときは、地元の

情報やごみの分け方などが載っている冊子を必ず入手します。また、近所の方に引っ越しのあいさつをするときは町内のごみ回収曜日や、方法についても聞いておきました。

引っ越しに伴って、ごみの量が一気に増える場合があります。特に粗大ごみの処分に悩まれる人も少なくないかと思えます。個人的な経験では、短期滞在の方なら、なるべく大きい家具などを買わずに我慢したほうがいいと思います。粗大ごみの処分には時間がかかる場合もあるので、早めに手続きをしたいものです。

ごみの分別はもちろん大事ですが、ごみを減らす、また資源ごみの回収と再利用を増やすことも同じく大事なことだと思えます。

韓国語版

（相談員Y）

新しい環境での生活が始まると、最初に直面するのはごみの排出問題です。私も始めて日本に来たときは、ごみの問題で困りました。早すぎる時間帯にごみを出してしまっ、後で気づいたら、カラスがごみを広げ散らかしていたとがありました。その他にもハンガーをプラスチック製容器包装指定袋に捨てて、注意されたことなど…今は慣れましたが、最初は大変でした。

ちなみに、ねこやカラスがごみを広げ散らかしてしまうことがよくあるので、決まった時間に合わせて排出し、ネットなどが設置されているところでは、ネットでしっかり被せましょう。

私のごみを分ける時、特に難しかったのは、割れたガラスや刃物でした。このようなものは厚い紙などでしっかり包み、家庭ごみ指定袋に入れたあと、日本語で「キケン」と指定袋に書いてください。他にも「プラ」というマークがない30cm以下のおもちゃなどは家庭ごみ指定袋に捨ててください。

使わない布団やいすのような粗大ごみは、粗大ごみ受付センターに電話して、集める日や時間、場所、金額を案内してもらいます。最初は難しいけど、慣れてくると、必要なときに役に立つのでぜひ知っておきましょう。

ベトナム語版

（相談員C）

こんにちは。相談員です。  
日本に来たばかりのとき、知り合いから家具などをもらったことがありますか。  
私は、もうすぐ帰国する先輩から机と炊飯器、扇風機などをもらったことがあ

ります。先輩にお礼を言うと、「いいえ、逆に、お礼を言うのは私の方です。」  
 と言われました。そのとき、私はびっくりしました。「ものをあげる人はもらっ  
 てくれる人にお礼を言うの？」ベトナムにはそのような習慣はありません。そ  
 の後、その先輩は、「この家具を処分するために、おそらく別の費用がかかるよ。」  
 と言っていたので、日本に来たばかりの私は驚きました。

日本では、粗大ごみや大型家電製品などを勝手に捨てはいけません。仙台市の  
 粗大ごみ受付センターなどに申し込む必要があります。費用もかかります。

粗大ごみを捨てることになぜこんなに複雑なのだろうと疑問に思う人もいるか  
 もしれません。家庭ごみと違って、粗大ごみを処分するには手続きが必要です。  
 捨てるときにしっかり手続きをしないと、街や家の中がごみでいっぱいになり、  
 環境への影響が心配になります。それは、後で私たちの生活にも影響がでる  
 と思います。

大きな家具を買うときは、本当にその家具などが必要かをよく考えてみてく  
 ださいね。そして、まだ使えるのに使わなくなったら、周りの人に必要かどう  
 か聞いてみるのもいいのではないのでしょうか。もし、どうしても捨てる必要がある  
 ときは、パンフレットなどで仙台市の出し方を確認してください。

お互いに地球環境を守るため、ごみ出しルールを守りましょう！

ネパール語版

（相談員B）

私は多文化共生センターネパール語相談員です。ネパールから日本にきて14  
 年になりました。仙台は緑豊かな街なので、とても暮らしやすいです。

ネパールでは地域によってごみ捨て方がいろいろあります。私の住んでいた  
 地域では、飼っていた動物が生ごみを食べたり、燃えるごみは土に埋めていたの  
 で、ごみについて悩むことはありませんでした。

首都では週に2～3回ごみを集めることもあります。もえるごみ、プラスチック  
 ごみなどをすべて同じ袋に入れ、外に出します。後でごみ収集車が取りにき  
 ます。収集車が来る時間は決まっていません。いつ集められるかわかりません。

私は、日本に来てからごみの出し方を知ったとき、とてもうれしくなりまし  
 た。ごみを集める日がたくさんあり、分別をきちんとしているので、家も汚く  
 ならず、気持ちもすっきりします。

ただ日本にほんに来たばかりの頃ころは、言葉ことばがわからない新しい場所あたらしいばしょだったので、生活せいかつ  
 の仕方しかた、ごみの分別ぶんべつ、ごみを捨てる時間じかんなど全くまったわかりませんでした。ネパール  
 では粗大そだいごみを捨てるのにお金かねはかかりません。テレビ、冷蔵庫れいぞうこを捨てるときは  
 お金かねをもらえる場合ばあいもあります。しかし、日本にほんでは、粗大そだいごみを捨てる時には  
 お金かねがかかるということを知しったときは、とてもおどろきました。自分じぶんが使つかわな  
 い毛布もうふも、どうやって捨てるのかわからず、とても苦労くろうしました。だんだんとご  
 みの出し方を理解りかいして、ルール通りどおにごみを捨てるようになりました。

日本にほんに来るネパールの学生がくせいはごみ出しのルールなど知らないことがたくさんあ  
 りますが、近所きんじよの人ひとや友達ともだちからの情報じょうほうを得えることは非常に大切たいせつであると感じて  
 います。みなさんだもごみの出し方かたがわからないときは近所きんじよの方かたや大家さんおおやなどに  
 気軽きがるに聞いてみてくださいね。

せんだいたぶんかきょうせい  
仙台多文化共生センター